

2025年 3月28日  
京成電鉄株式会社

より実践的な訓練実施のために  
**解体予定の集合住宅を使用した  
消防救助訓練に協力しました**

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、当社を代表企業とする共同企業体(※)が独立行政法人都市再生機構(UR)より譲受した成田市橋賀台の土地建物において、解体予定の建物を使用した消防の救助訓練に協力しました。

本訓練は成田市成田消防署より、実際の居住用建物を使用した訓練を通じて、より実践的な対応能力を養いたいとの申し出を受け、解体予定の集合住宅を訓練場所として提供したものです。

訓練は2025年3月11日から14日にかけておこなわれ、消防署員7名が参加し、倒壊建物を想定した掘削訓練や高所救出訓練、ドア破壊解放訓練など通常稼働中の建物では実施できない訓練をおこないました。近年災害が大規模化、特殊化するなかで、成田消防署では実態に合わせた訓練実施場所の確保に苦慮している状況があり、今回実践的で非常に有意義な訓練であった旨のコメントをいただいております。

京成電鉄では今後も事業エリアの自治体などと連携し、安全・安心なまちづくりに貢献してまいります。

※共同企業体:

京成電鉄株式会社、トヨタホーム東京株式会社、東京セキスイハイム株式会社、  
旭化成不動産レジデンス株式会社、旭化成ホームズ株式会社、  
株式会社スウェーデンハウス、住友林業株式会社、積水ハウス株式会社、  
大和ハウス工業株式会社、ミサワホーム株式会社、三井ホーム株式会社

## 訓練の様子



以上